

福井県産業情報センター(1/2)

最新情報の世界 産業情報センターへようこそ!!!

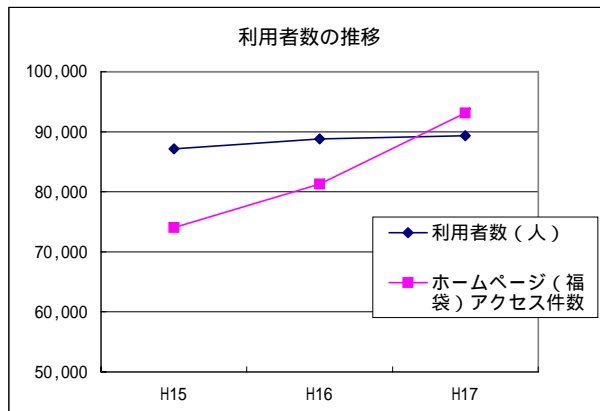
所在地	丸岡町熊堂3-7-1 (嶺南支所:小浜市白鬚112 白鬚業務棟3F)		
設置年月日	平成6年4月1日		
施設の種類	産業支援施設	施設管理主体	(財)ふくい産業支援センター
設置の目的	企業の情報化に係る支援、企業の経営等に関する情報の提供および情報産業の育成を行い、もって本県産業の高度化に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート、地上8階、地下1階、延べ8,131㎡ マルチホール、会議室、パソコン研修室、マルチメディアコンテンツ制作コーナー、技術開発室、インキュベーションルーム、共同研究室、産業情報資料室		
職員数	県派遣職員2人 団体職員2人 計4人		

利用状況等

	H15	H16	H17
利用者数(人)	87,166	88,786	89,348
ホームページ(福袋)アクセス件数	74,059	81,284	93,129

利用者負担(利用料金)等

施設使用料	システム設計室(全日)	7,900円
	パソコン実習室(全日)	16,600円
	マルチホール(全日)	69,700円



(産業情報センター正面)

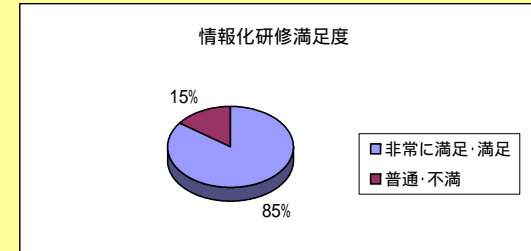
利用状況の推移

利用者数の年度推移については、年々増加し、年間約9万人の利用を確保しており、企業の情報化支援、情報産業育成の拠点施設として定着しています。また、施設管理主体である(財)ふくい産業支援センターが提供しているホームページ「福袋」のアクセス件数についても年々増加しており、企業に必要な情報の提供、情報交流の促進が図られています。

平成17年度の特徴について

事業実績

- ・セミナー
県内中小企業のIT化支援のため、戦略的なIT投資手法や実践的なIT活用事例などをテーマとしたセミナーを開催しました。5回開催し、約450名の参加がありました。
- ・情報化研修
県内中小企業の情報化や県内IT企業を担う人材育成のため、パソコン実習室において、各種の情報化研修を実施しました。講座数は45回、受講者数は約500名でした。受講者のアンケート結果では、研修内容に満足している方の割合は85%となっており、高い評価を受けています。



- ・ITベンチャー交流会
県内のITベンチャーのビジネス活動拡大のため、先駆的ITベンチャー等を講師に招いた交流会を開催しました。4回開催し、約200名の参加がありました。
- ・デジタル映像クリエイター養成講座
県内マルチメディア産業の振興のため、マルチメディアコンテンツ制作コーナーのビデオ編集室で、映像制作の理論や表現技術を学ぶ講座を開催しました。



産業情報資料室

産業情報センター1階では、施設管理主体である(財)ふくい産業支援センターが、企業経営に役立つ図書や雑誌、ビデオソフトなどを自由に閲覧・貸出できる資料室を設けています。



福井県産業情報センター(2/2)

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

	総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%
	退職給与引当金繰入	0	0.0%
	計	0	0.0%
物にかかるコスト	物件費	193,661	70.0%
	維持補修費	3,507	0.0%
	減価償却費	76,032	30.0%
	計	273,200	100.0%
その他	公債費(利子)	0	0.0%
	その他	244	0.0%
	計	244	0.0%
合計	273,444	100.0%	99.9%

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	1,373,855	95%	固定負債	0	-
投資等	0	-	流動負債	0	-
流動資産	0	-	正味資産	1,373,855	95%
計	1,373,855	95%	計	1,373,855	95%

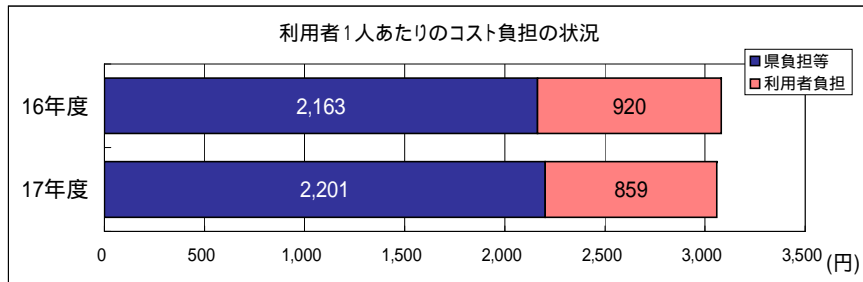


(単位 千円)

収入				
利用料等収入	76,710	28.1%	93.9%	
その他収入	7,593	2.8%	34.3%	
一般財源	189,141	69.2%	111.3%	

(前年比)

利用料等収入計	76,710,000 円	94%
利用者1人あたり平均利用料	859 円	93%
利用者1人あたりコスト	3,060 円	99%



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

(財)ふくい産業支援センターへの管理委託を行っているため、県の委託料としてすべて物件費に計上しています。

平成17年度は、空冷チラー圧縮機の大規模修繕を行ったため、維持管理補修費が増加しました。また、情報化研修事業の講座回数減に伴い、受講料収入が減少したことから、「利用料金等収入」が対前年比6%減となっています。

しかしながら、入居施設の利用の増に伴う利用者数の増加により、利用者1人あたりコストは前年比1%の減となっています。

施設の特徴

県内では、最も通信環境の整った研修施設や設備を有しています。平成6年4月の開館以来、施設の提供や施設を有効に活用した研修・セミナー等の企画実施を行ってきており、企業の情報化支援、情報産業育成の拠点施設として定着しています。

- ・IT関連の起業を促進するため、インキュベートルームや共同研究室の貸出を行っています。
- ・マルチメディアコンテンツの作成のためのビデオ編集室、サウンド編集室等の貸出、制作支援を行っています。
- ・県内中小企業の情報化に対応する人材や県内IT企業を担う人材を育成するため、情報化研修を実施しています。

今後の課題

利用者の意見を踏まえ、一層のサービス向上を図るとともに、広報活動を強化し、新規利用者を増やしていく必要があります。

今後の事業方針

平成17年4月に施設管理主体である(財)福井産業支援センターが、(財)福井県中小企業産業大学校、(財)福井県デザインセンターと統合し、(財)ふくい産業支援センターとなりました。産業支援に加え、人材育成やデザイン振興の機能が一体となったことをフルに活用し、一層の利用者サービスの向上、コスト削減を目指します。

取り組み内容

利用者にとって快適な環境の整備に努めるとともに、広報活動を強化することにより、利用者数の向上を目指します。

セミナーや情報化研修は、インターネット・EC(電子商取引)関連分野など、最新のビジネス動向等を踏まえ、県内中小企業やIT企業等に必要とされる内容の設定に努めます。

また、平成18年4月から指定管理者制度を導入し、指定管理者に(財)ふくい産業支援センターを指定し、一層のサービス向上および利用促進に努めています。